

2020年1月7日

## 女子体操競技情報 29号

(公財)日本体操協会  
東京オリンピック強化委員会  
女子体操競技強化本部  
審判委員会体操競技女子審判本部

日本体操協会では、東京オリンピック強化委員会女子体操競技強化本部による2020年強化指針と審判委員会体操競技女子審判本部による2020年採点指針、およびFIGからの採点規則の変更、修正等の情報をここに通達し、この通達をもって適用といたします。

# 2020年 強化指針

東京オリンピック強化委員会  
女子体操競技強化本部長  
田中 光

## 全体として

2020年は東京オリンピックの年となります。期待に胸を膨らませ、何としても日本はメダル獲得の目標を達成したいと思っております。これまでの強化を継続しつつ、特に平均台、ゆかの強化に力を入れていきます。

また、次世代の選手は2024年パリオリンピックに向けて、基本に忠実で正確な技術からなる「美しい体操」を身に付けてもらいたいと思っております。

全身全霊を尽くして目標に向けて突き進む強い思いをもとに、ここに強化指針を掲げます。

## ◆東京オリンピック 代表選考競技会◆

### 強化目標

- ①団体でのメダル獲得
- ②個人総合でのメダル獲得
- ③種目別でのメダル獲得

★Dスコアを上げながらも正確な技の実施でEスコアを上げることを第一として強化

★団体メダル獲得基準167.000・個人総合メダル獲得基準56.000を超える強化

★特に平均台とゆかでメダルを獲得するための強化

### <跳馬>

Dスコア5.40以上の技は必須。積極的にD5.60、D5.80、D6.00の技に取り組む。

チェソビチナ（前転とび～前方伸身宙返り1½ひねり）・アマナール（ロンダート後転とび～後方伸身宙返り2½ひねり）などの高いDスコアの跳躍技を推奨しつつも、美しい姿勢と正確で完成度の高い跳躍を目指す。

### <段違い平行棒>

高難度の手放し技の実施、組み合わせ点を多く得られる演技構成を推奨しつつも、美しい姿勢と正確で完成度の高い演技を目指す。

## <平均台>

高いDスコアの演技を推奨しつつも、技の正確性と全習での安定感を最重要視し、美しい姿勢と正確で完成度の高い演技を目指す。

## <ゆか>

高いDスコアの演技を推奨しつつも、美しい姿勢と正確で完成度の高い演技を目指す。ひねり不足やジャンプ系の高さ不足、柔軟性、ターンの正確性、タンブリングの高さ、着地姿勢、表現力を改善し、確実に8.20以上のEスコアを獲得できる演技を目指す。

## ◆代表選考会を除くすべての国内競技会◆

### 強化目標

- ①徹底的に基本を見直し、どの技においても姿勢欠点のない実施を身に付ける
- ②高いEスコア・Dスコアの演技を目指す

★Dスコアを上げながらも正確な技の実施でEスコアを上げることを第一として強化  
★美しい姿勢での正確な技の実施につながる強化

## <跳馬>

積極的にDスコア5.40以上の技に取り組む。

D 5.80 のチェソビチナ（前転とび～前方伸身宙返り1½ひねり）やD 5.60 の伸身ツカハラとび2回ひねりにも取り組んでもらいたい。

## <段違い平行棒>

美しい姿勢で正確な技の実施を第一とする。手放し技の難度を上げ、組み合わせ点を効率よく得られる構成を練る必要がある。また、シュタルダーや閉脚浮腰回転倒立などの回転系の技での倒立姿勢の減点は非常に大きいため、熟練度を高めること。

## <平均台>

美しい姿勢で正確な技の実施を第一とする。技の正確性と全習での安定感を最重要視する。

## <ゆか>

美しい姿勢で正確な技の実施を第一とする。基本技、基本の動きの見直しを図り、ひねり不足やジャンプの高さ不足、柔軟性、ターンの正確性、タンブリングの高さ、着地姿勢、表現力を改善していき高いEスコアを目指す。

# 2020年 採点指針

審判委員会体操競技女子審判本部

## 全体として

東京オリンピック強化本部より、東京オリンピックで日本がメダルを獲得することを目指した目標と、さらに次のパリオリンピックを視野に入れた強化方針が打ち出されました。東京オリンピックでは日本選手がメダルを獲得することが最大の目標となります。次回の2024年パリオリンピックに向けては今から技の習得や基礎の見直しなど日本全体で強化を進めていかなければなりません。従って、2020年は東京オリンピックの代表選考に関わる競技会と、それを除くすべての競技会に分けた指針を掲げます。

## ◆東京オリンピック 代表選考競技会◆

東京オリンピック代表選考競技会では以下の3項目を採点上の最重要項目とし採点をします。

対象競技会：第74回全日本個人総合選手権大会、第59回NHK杯、第74回全日本種目別選手権大会

- ① 欠点のない美しい姿勢での正確な技の実施
- ② 安定感のある技の実施による完成度の高い演技
- ③ すべての技の実施において、着地の先取りができた高い体勢での安定した着地

## 各種目について

日本の現状を踏まえて望ましい演技として評価する方向性を以下のように示す。

### <跳馬>

- 高さと距離を伴うスピード感のあるダイナミックな跳躍
- 着地の体勢が高く、安定した着地
- 姿勢欠点のない完成度の高い跳躍

#### 【採点上の留意点】

- ダイナミックさに欠ける跳躍については、跳躍の大きさだけではなく、技の難易度から受ける迫力や雄大性などを加味し、第10章「跳馬「種目特有な実施減点」」の「ダイナミックさに欠ける（0.10/0.30）」の減点項目に則り、明確に差をつける。
- 着地の先取りがなく着地が乱れたり、低い着地姿勢になる完成度の低い跳躍については、第8章「一般欠点と減点表」、第10章「跳馬「種目特有な実施減点」」の減点項目に則り、厳密に減点をする。

## <段違い平行棒>

- 腕の曲がりや膝、つま先の緩みのない美しく伸びた体線での正確な技の実施
- 技の振幅が大きいダイナミックな演技
- 空中局面を伴う技の雄大な実施
- 終末技の高い体勢での安定した着地

### 【採点上の留意点】

- 上記指針の内容に沿わない姿勢欠点のある実施、未完成な演技に対しては、第8章「一般欠点と減点表」、第11章 段違い平行棒「種目特有な実施減点」の減点項目に則り、厳密に減点をする。
- け上がり、倒立などの基本技の姿勢においても注視し、膝やつま先の緩みが見られる実施や、身体の姿勢が悪い実施に対しては、第8章「一般欠点と減点表」、第11章 段違い平行棒「種目特有な実施減点」の「倒立、または振り上げ倒立の身体の姿勢が悪い (0.10/0.30)」の減点項目に則り減点をし、明確に差をつける。

## <平均台>

- アクロバット系、ダンス系の技が正確で熟練された演技
- 立ち姿勢、つま先まで意識された常に美しい姿勢での演技
- 技の前の「調整」や「停止」のない流れのある演技

### 【採点上の留意点】

- ダンス系の技は特に注視し、姿勢欠点のある実施、正確さに欠ける実施には「身体の姿勢の減点 (0.10/0.30/0.50)」、「高さ (0.10/0.30)」、「正確さ (0.10)」の減点項目に則り、厳密に減点をする。
- 頭部や胴体、肩、腕の位置が悪い、つま先が伸びない、足が内向き、つま先立ちでの運動や動きに欠ける演技に対しては、「演技全体を通して身体の姿勢が悪い」の減点項目に則り、減点をする。
- 上記指針の内容に沿わない演技に対しては、第8章「一般欠点と減点表」、第12章 平均台「芸術性と構成の減点」、「種目特有な実施減点」の減点項目に則り、明確に差をつける。

## <ゆか>

- アクロバット系、ダンス系の技が正確で熟練された演技
- 着地の体勢が高く、安定した着地
- 立ち姿勢、つま先まで意識された常に美しい姿勢での演技
- 演技面を大きく使い、流れのあるダイナミックな演技
- 観衆を魅了することができる芸術作品として完成度の高い演技

### 【採点上の留意点】

- 着地の先取りがなく着地が乱れたり、低い着地姿勢になる実施については、第8章「一般欠点と減点表」の減点項目に則り、厳密に減点をする。
- ダンス系の技は特に注視し、姿勢欠点のある実施、正確さに欠ける実施には「身体の姿勢の減点 (0.10/0.30/0.50)」、「高さ (0.10/0.30)」、「正確さ (0.10)」の減点項目に則り、厳密に減点をする。

- つま先が伸びない、足が内向き、べた足の演技に対しては、「演技全体を通して身体の姿勢が悪い」の減点項目に則り、減点をする。
- 上記指針の内容に沿わない演技に対しては、第8章「一般欠点と減点表」、第13章 ゆか「芸術性と構成の減点」、「音楽性」、「種目特有な実施減点」の減点項目に則り、明確に差をつける。

## ◆代表選考会を除くすべての国内競技会◆

2020年 の国内競技会では以下の2項目を採点上の最重要項目とし採点をします。

- ① 膝、つま先の緩みのない美しい姿勢での正確な技の実施
- ② 高いDスコアの獲得を目指した演技構成

\*ただし、①を満たせていない実施に対しては厳密に減点をする。

### 各種目について

日本の現状を踏まえて望ましい演技として評価する方向性を以下のように示す。

#### <跳馬>

- Dスコアの高い跳躍技の実施
- 高さと距離を伴うスピード感のあるダイナミックな跳躍

#### 【採点上の留意点】

- ダイナミックさに欠ける跳躍については、跳躍の大きさだけではなく、技の難易度から受ける迫力や雄大性などを加味し、第10章 跳馬「種目特有な実施減点」の「ダイナミックさに欠ける (0.10/0.30)」の減点項目に則り、明確に差をつける。
- 高い難度の跳躍技を奨励するが、各局面において著しい技術不良が見られる跳躍については、第8章「一般欠点と減点表」、第10章 跳馬「種目特有な実施減点」の減点項目に則り、厳密に減点をする。  
(各競技会の主旨や出場する選手層を考慮し、それに応じた適切な評価をする。)

#### <段違い平行棒>

- 腕の曲がりや膝、つま先の緩みのない美しく伸びた体線での正確な技の実施
- 技の振幅が大きいダイナミックな演技
- 多様な空中局面を伴う技を組み入れ、組み合わせ点を獲得できる演技構成

#### 【採点上の留意点】

- 上記指針の内容に沿わない姿勢欠点のある実施に対しては、第8章「一般欠点と減点表」、第11章 段違い平行棒「種目特有な実施減点」の減点項目に則り、厳密に減点をする。
- け上がり、倒立などの基本技の姿勢においても注視し、膝やつま先の緩みが見られる実施や、身体の姿勢が悪い実施に対しては、第8章「一般欠点と減点表」、第11章 段違い平行棒「種目特有な実施減点」の「倒立、または振り上げ倒立の身体の姿勢が悪い (0.10/0.30)」の減点項目に則り減点をし、明確に差をつける。

## <平均台>

- アクロバット系、ダンス系の技が正確で熟練された演技
- 立ち姿勢、つま先まで意識された常に美しい姿勢での演技
- 技の前の「調整」や「停止」のない流れのある演技
- 高いDスコアの獲得を目指した演技構成

### 【採点上の留意点】

- ダンス系の技は特に注視し、姿勢欠点のある実施、正確さに欠ける実施には「身体の姿勢の減点(0.10/0.30/0.50)」、「高さ(0.10/0.30)」、「正確さ(0.10)」の減点項目に則り、厳密に減点をする。
- 頭部や胴体、肩、腕の位置が悪い、つま先が伸びない、足が内向き、つま先立ちでの運動や動きに欠ける演技に対しては、「演技全体を通して身体の姿勢が悪い」の減点項目に則り、減点をする。
- 上記指針の内容に沿わない演技に対しては、第8章「一般欠点と減点表」、第12章 平均台「芸術性と構成の減点」、「種目特有な実施減点」の減点項目に則り、明確に差をつける。

## <ゆか>

- アクロバット系、ダンス系の技が正確で熟練された演技
- 立ち姿勢、つま先まで意識された常に美しい姿勢での演技
- 演技面を大きく使い、流れのあるダイナミックな演技
- 観衆を魅了することができる芸術作品として完成度の高い演技
- 高いDスコアの獲得を目指した演技構成

### 【採点上の留意点】

- ダンス系の技は特に注視し、姿勢欠点のある実施、正確さに欠ける実施には「身体の姿勢の減点(0.10/0.30/0.50)」、「高さ(0.10/0.30)」、「正確さ(0.10)」の減点項目に則り、厳密に減点をする。
- つま先が伸びない、足が内向き、べた足の演技に対しては、「演技全体を通して身体の姿勢が悪い」の減点項目に則り、減点をする。
- 上記指針の内容に沿わない演技に対しては、第8章「一般欠点と減点表」、第13章 ゆか「芸術性と構成の減点」、「音楽性」、「種目特有な実施減点」の減点項目に則り、明確に差をつける。

## 【跳躍や演技を試みなかった場合の国内対応】

国内競技会においては、従来通り、緑ライトの点灯またはD1審判員からの演技開始の合図の後、選手がD審判員に挨拶をし、跳躍板や器具に触れてから再び挨拶することで0.00点として扱うこととする。(すべての種目)

## 【採点規則 2017 年版 補足説明】 \*2019 シュトゥットガルト世界選手権・Newsletter#44 情報

### <総則>

- 競技直前の演技台での練習に向けた器械器具の準備についてのガイドライン  
(採点規則 第2章、第4章ならびにヘルプデスクによる)

### <予選・個人総合決勝・団体総合決勝>

競技の開始時、選手/チームが競技エリアに入場するアナウンスが入った直後から器械器具の準備を開始することができる。次の種目へ移動する際、選手/チームがローテーションを開始するアナウンスが入った直後に器械器具の準備を開始することができる。

#### 段違い平行棒：

選手または競技エリア内への入場を認められた者、最大2名が演技台上で競技直前の練習の前の器械器具の準備が認められる。

#### 跳馬／平均台：

選手または競技エリア内への入場を認められた者、最大1名が演技台上で競技直前の練習の前の器械器具の準備が認められる。

### <種目別決勝>

最初の演技者の器械器具の準備は、選手が競技エリアに入場するアナウンスが入った直後から開始することができる。

#### 段違い平行棒：

選手または競技エリア内への入場を認められた者、最大2名が演技台上で競技直前の練習の前の器械器具の準備が認められる。

#### 跳馬／平均台：

選手または競技エリア内への入場を認められた者、最大1名が演技台上で競技直前の練習の前の器械器具の準備が認められる。

段違い平行棒の準備を支援する二人目は、選手の演技の後、競技エリアから離れなければならない。

補足：あくまでも競技直前の演技台での練習に向けた器械器具の準備についてのガイドラインであり、競技直前の演技台での練習中の人数ではない。

### <段違い平行棒>

- 低棒け上がり

低棒け上がりを実施する際、棒の下を走りながら実施した場合、「足がマットにあたる（落下）」（1.00）と判断される。

## <平均台>

### ➤ 5.411 片足踏み切り、側方かかえ込み宙返り、横向き着台

片脚または両脚が伸びている場合、第8章 一般欠点と減点表「1回宙返りでのかかえ込み姿勢の正確さ(0.10/0.30)」の減点項目の適用となり、膝角度が90度より大きいと判断され減点-0.30となる。

### ➤ 5.512 後方伸身宙返り、両足着台

伸身姿勢を保てない実施には第8章 一般欠点と減点表「伸身姿勢を保てない(腰を曲げるのが早い)」の減点項目が適用されるが、腰の曲がりの度合いにかかわらずどのような実施であっても伸身姿勢を保てない(腰が曲がる)実施に対しての減点は-0.10のみとなる。

### ➤ 横向きでのジャンプ

横向きでのジャンプを実施する際、足を開いたまま踏み切った場合、これは身体の姿勢の欠点とみなされ「身体の姿勢(0.10/0.30/0.50)」の減点に含まれる。

## <ゆか>

### ➤ 2.202／2.402

前へ上げた浮脚の踵をターンの始めから終わりまで水平に保つターン(手の保持があってもなくても)

採点規則の難度表に従い、脚を保持できるのは片手のみである。

補足：もし、浮脚を両手で保持した場合は、片足上のターンと判断される。

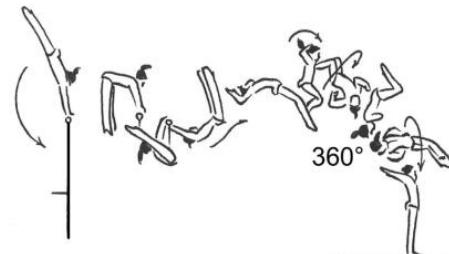
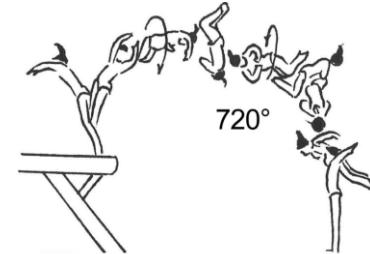
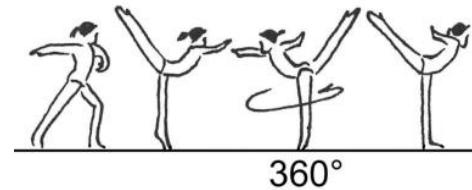
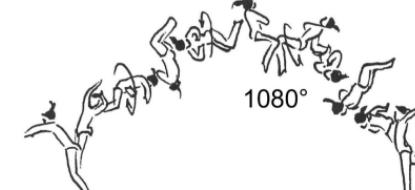
## <ダンス系の技>

ターンの回転中に浮脚が上下したり、余分な腕の振りや上体のバランスが崩れたりするような実施になった場合は、それらの欠点は「身体の姿勢(0.10/0.30/0.50)」の減点に含まれる。

補足：ターンの終了時にバランスが崩れた場合は、第8章「着地での欠点」の減点が適用される。

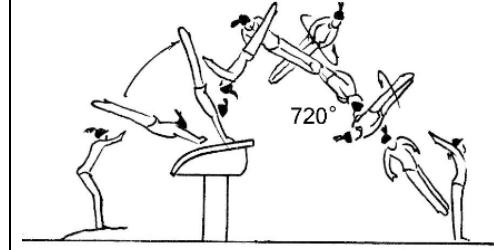
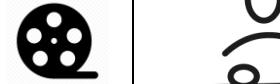
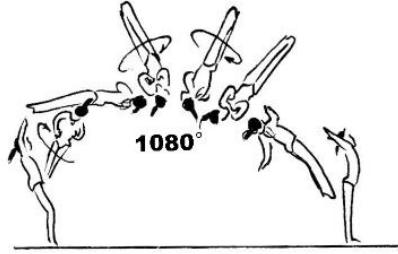
【2019年シュトゥットガルト世界選手権における新技】

\*FIG Newsletter#44

| 種目 | 選手                       | 解説  | URL | シンボル | 難度 | 図   |
|----|--------------------------|---|-----|------|----|---|
| UB | PETZ Emelie<br>(GER)     | # 6.402<br>高棒～開脚浮腰回転前振り出し～前方かかえ込み宙返り 1回ひねり下り<br><a href="https://youtu.be/JtlaVWbL0Gc">https://youtu.be/JtlaVWbL0Gc</a> |     | XME  | D  |    |
| BB | BILES Simone<br>(USA)    | # 6.805<br>後方かかえ込み 2回宙返り 2回ひねり下り  |     | ee   | H  |    |
| FX | MADSEN<br>Laney<br>(BUL) | # 2.205<br>正面水平立ち 1回ターン<br><a href="https://youtu.be/TSzqdbOKO5E">https://youtu.be/TSzqdbOKO5E</a>                      |     | o=   | B  |   |
|    | BILES Simone<br>(USA)    | # 5.1002<br>後方かかえ込み 2回宙返り 3回ひねり<br><a href="https://youtu.be/IEDenoxtE-A">https://youtu.be/IEDenoxtE-A</a>              |     | ee   | J  |  |

【2019年その他の大会における新技】

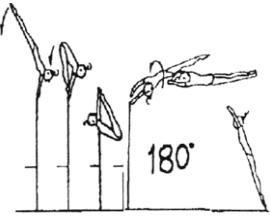
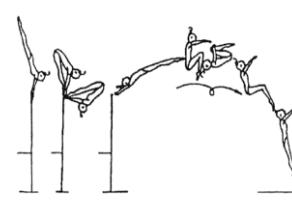
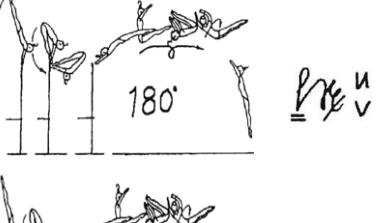
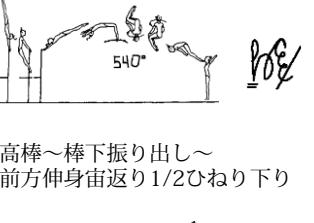
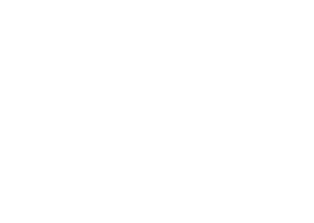
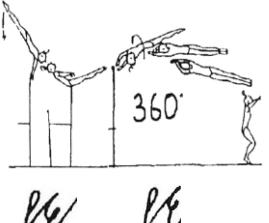
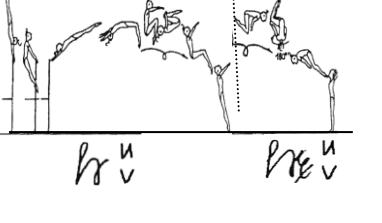
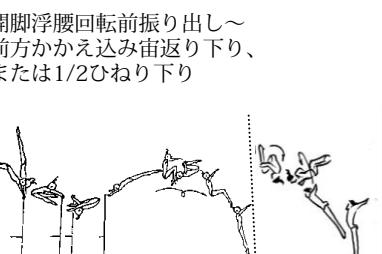
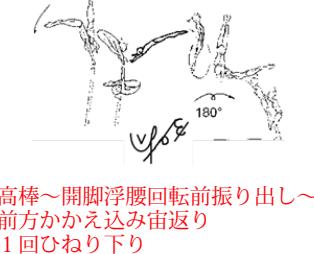
\*FIG Newsletter#44

| 種目 | 選手                           | 解説   | URL | シンボル  |     | 図  |
|----|------------------------------|--|-----|---|-----|--|
| VT | YEO Seojeong<br>(KOR)        | # 2.34<br>前転とび～前方伸身宙返り 2回ひねり<br><a href="https://youtu.be/4Pprxcp1yME">https://youtu.be/4Pprxcp1yME</a>        |     |   | 6.2 |   |
| FX | TING Hua-Tien<br>(TPE)       | # 1.409<br>片足踏み切り、前後開脚とびから輪、1/2 ひねり<br><a href="https://youtu.be/tWO-7h6bx6M">https://youtu.be/tWO-7h6bx6M</a> |     |    | D   |   |
|    | MALDONADO<br>Andrea<br>(PUR) | # 4.602<br>前方伸身宙返り 3回ひねり   | /   |  | F   |  |

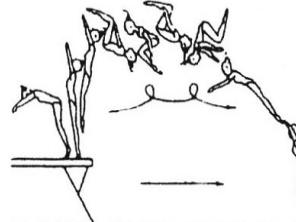
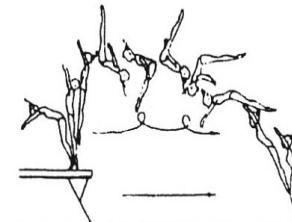
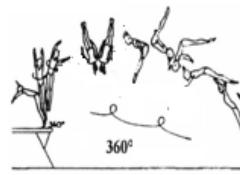
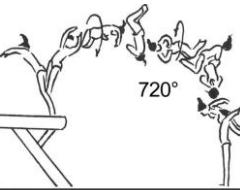
GROUP 2 — HANDSPRING FWD WITH/WITHOUT 1/1 (360°) IN 1<sup>ST</sup> FLIGHT PHASE – SALTO FWD/BWD WITH/WITHOUT LA TURN IN 2<sup>ND</sup> FLIGHT PHASE

|   |  |   |  |   |                    |
|---|--|---|--|---|--------------------|
| <p><b>2.30</b><br/>前転とび～<br/>前方伸身宙返り</p> <p>4.60 P.</p>         | <p><b>2.31</b><br/>前転とび～<br/>前方伸身宙返り 1/2ひねり</p> <p>5.00 P.</p> | <p><b>2.32</b><br/>前転とび～<br/>前方伸身宙返り 1回ひねり</p> <p>5.40 P.</p> | <p><b>2.33</b><br/>前転とび～<br/>前方伸身宙返り 1 1/2ひねり</p> <p>5.80 P.</p> | <p><b>2.34</b><br/>前転とび～<br/>前方伸身宙返り 2回ひねり</p> <p>6.20 P.</p> | <p><b>2.35</b></p> |
| <p><b>2.40</b><br/>前とび 1回ひねり～<br/>前方かかえ込み宙返り</p> <p>5.20 P.</p> | <p><b>2.41</b><br/>前とび 1回ひねり～<br/>前方屈身宙返り</p> <p>5.60 P.</p>   | <p><b>2.42</b></p>  | <p><b>2.43</b></p>   | <p><b>2.44</b></p>  | <p><b>2.45</b></p> |
| <p><b>2.50</b><br/>前転とび～<br/>前方かかえ込み 2回宙返り</p> <p>6.40 P.</p>   | <p><b>2.51</b></p>   | <p><b>2.52</b></p>  | <p><b>2.53</b></p>   | <p><b>2.54</b></p>  | <p><b>2.55</b></p> |

6.000 — DISMOUNTS

| A   | B  | C  | D   | E   | F/G   |
|---|--|--|---|---|---|
| <b>6.101</b><br>高棒～棒下振り出し1/2ひねり下り<br>または1回ひねり下り   | <b>6.201</b><br>高棒～棒下振り出し～<br>前方宙返り(かかえ込み、屈身)<br>下り  | <b>6.301</b><br>高棒～棒下振り出し～<br>前方宙返り(かかえ込み、屈身)<br>1/2ひねり下り、または1回ひねり下り   | <b>6.401</b><br>高棒～棒下振り出し～<br>前方かかえ込み宙返り<br>1 1/2ひねり下り  | <b>6.501</b>  | <b>6.601</b>  |
| <br><i>bv</i> <i>bv</i>   | <br><i>hr</i> <i>hr</i>   | <br><i>hr</i> <i>hr</i><br>180° 360° | <br>540°   | <br>540°   | <br>540°   |
| <b>6.102</b><br>高棒～浮支持回転前振り出し1/2<br>ひねり下り、または1回ひねり<br>下り  | <b>6.202</b>   | <b>6.302</b><br>高棒～浮支持回転前振り出し～<br>前方宙返り(かかえ込み、屈身)下り、<br>または1/2ひねり下り  | <b>6.402</b><br>高棒～浮支持回転前振り出し～<br>前方かかえ込み宙返り1回ひね<br>り下り                                       | <b>6.502</b><br>高棒～浮支持回転前振り出し～<br>前方かかえ込み宙返り1 1/2<br>ひねり下り                                    | <b>6.602</b>  |
| <br><i>bv</i> <i>bv</i> | <br><i>hr</i> <i>hr</i> | <br><i>hr</i> <i>hr</i><br>360°    | <br>360°  | <br>540°  | <br>540°  |
|   |  | 開脚浮腰回転前振り出し～<br>前方かかえ込み宙返り下り、<br>または1/2ひねり下り   | <br>180° | <br>360° | <br>360° |
|   |  |  | 高棒～開脚浮腰回転前振り出し～<br>前方かかえ込み宙返り<br>1回ひねり下り  |   |   |

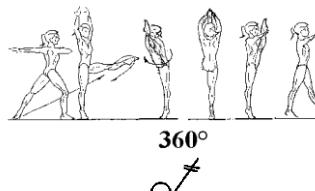
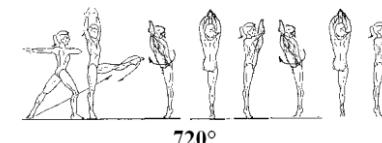
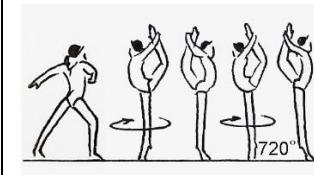
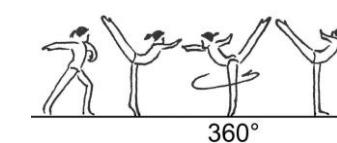
## 6.000 — DISMOUNTS

| A     | B     | C     | D   | E  | F / G / H  |
|-------|-------|-------|---|--|--|
| 6.105 | 6.205 | 6.305 | <p><b>6.405</b><br/>後方かえ込み2回宙返り下り</p>  <p>ll</p> | <p><b>6.505</b><br/>後方屈身2回宙返り下り</p>  <p>llv</p> | <p><b>6.605</b></p> <p><b>6.705 - G -</b><br/>後方2回宙返り1回ひねり下り<br/>(かえ込み、屈身)</p>   <p>360°</p> <p>Ell v</p> <p><b>6.805 - H -</b><br/>後方かえ込み2回宙返り<br/>2回ひねり下り</p>  <p>720°</p> <p>Ell</p> |

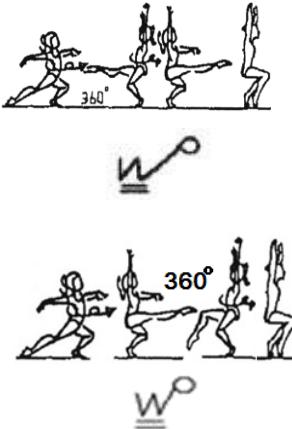
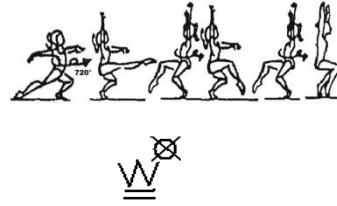
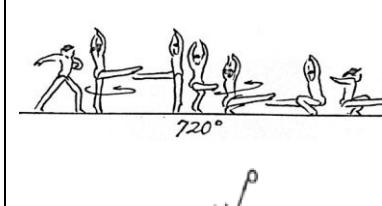
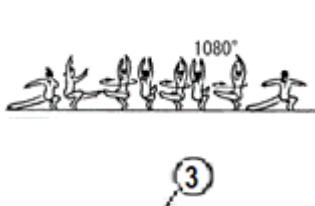
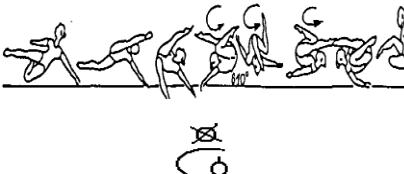
## 1.000 – GYMNASTIC LEAPS, JUMPS AND HOPS

| A  | B   | C  | D  | E | F/G  |
|--|---|--|--|---|--|
| <p><b>1.109 (*)</b><br/>両足踏み切り、前後開脚とび<br/>(開脚は180度)</p> <p>鹿とび</p> <p>鹿とび1/2ひねり</p> <p>シソンヌ<br/>(両足踏み切り、片足着地)<br/>(床に対して斜め45度に180度の開脚)</p> | <p><b>1.209 (*)</b><br/>両足踏み切り、輪とび(後ろ足は頭の高さ、上体はアーチ姿勢で頭部後屈、開脚は180度)</p> <p>鹿とび</p> <p>鹿とび1/2ひねり</p> <p>シソンヌ<br/>(両足踏み切り、片足着地)<br/>(床に対して斜め45度に180度の開脚)</p> | <p><b>1.309</b><br/>片足踏み切り、前後開脚とびから輪<br/>(開脚は180度)</p> <p>カデット</p> | <p><b>1.409 (*)</b><br/>両足踏み切り、前後開脚とびから輪、1回ひねり</p> <p>カデットから輪、1/2ひねり</p> |   | <p><b>1.509</b></p> <p>(*) 同じボックス内の技は、実施された順に1回のみ承認される</p> |
|  |   |  |  |   |  |

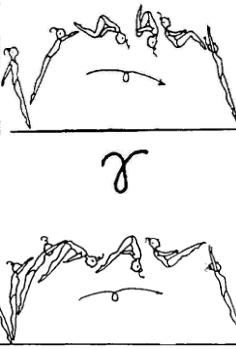
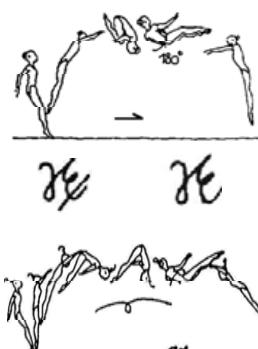
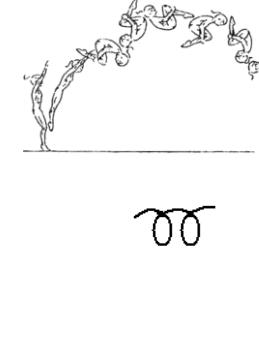
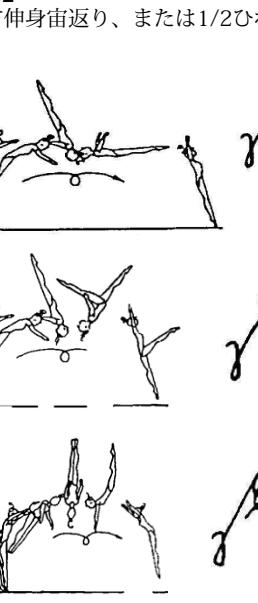
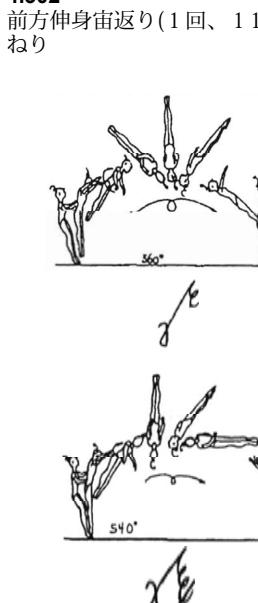
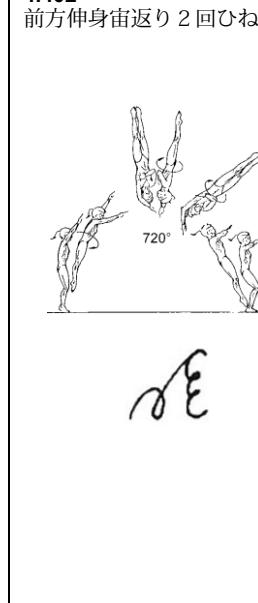
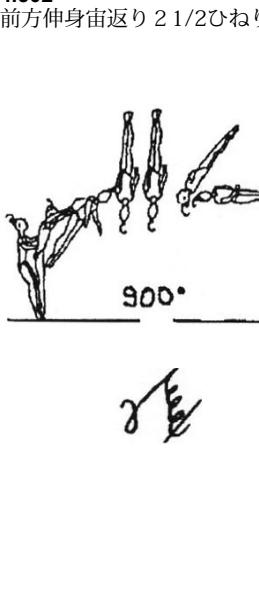
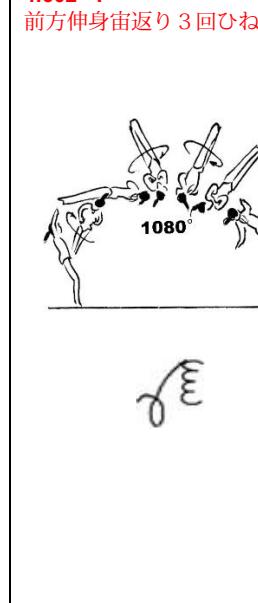
## 2.000 – GYMNASTIC TURNS

| A     | B  | C     | D  | E  |
|-------|--|-------|--|--|
| 2.103 | <p><b>2.203</b><br/>180度開脚した浮脚の上方をターンの始めから終わりまで手で保持した1回ターン</p>  <p>360°</p>  | 2.303 |  | <p><b>2.403</b><br/>180度開脚した浮脚の上方をターンの始めから終わりまで手で保持した2回ターン</p>  <p>720°</p>  |
| 2.104 | <p><b>2.204</b><br/>後ろへ上げた浮脚の膝をターンの始めから終わりまで水平に保つ片足立ち1回ターン</p>  <p>360°</p>  | 2.304 | <p><b>2.404 (*)</b><br/>後ろへ上げた浮脚の膝をターンの始めから終わりまで水平に保つ片足立ち2回ターン</p>  <p>720°</p>  <p>後ろへ上げた浮脚の上方をターンの始めから終わりまで両手で保持した2回ターン</p>  <p>720°</p>  | 2.504  |
| 2.105 | <p><b>2.205</b><br/>正面水平立ち1回ターン</p>  <p>360°</p>                         | 2.305 | 2.405  | 2.505  |

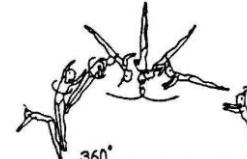
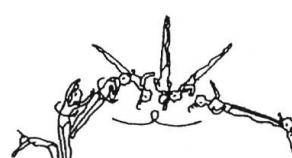
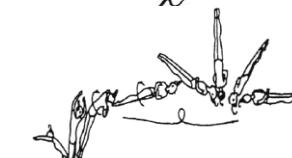
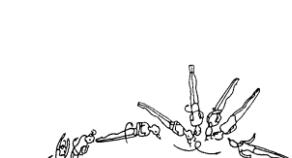
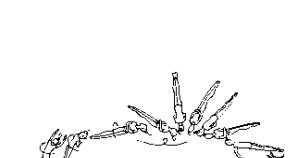
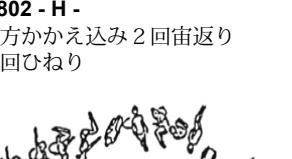
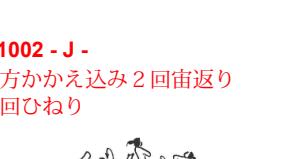
## 2.000 – GYMNASTIC TURNS

| A  | B   | C   | D  | E  |
|--|---|---|--|--|
| 2.106<br><br>(*)同じボックス内の技は、実施された順に1回のみ承認される  | 2.206<br>浮脚や手が床に触れずに、片脚を後ろに振り上げた前後開脚立ち経過1回ターン<br><br><br>↓ | 2.306   | 2.406  | 2.506  |
| 2.107 (*)<br>片足上でしゃがみ立ち1回ターン(浮脚は自由)<br><br> | 2.207<br>片足上でしゃがみ立ち2回ターン(浮脚は曲げる)<br><br>                   | 2.307<br>浮脚を水平に保つ片足立ちターンから浮脚を水平に保ったしゃがみ立ちで完了する2回ターン<br><br> | 2.407<br>片足上でターンの始めから終わりまで浮脚を伸ばした、しゃがみ立ち2回ターン(ターンの開始時に床を手で押さない)<br><br> | 2.507<br>片足上でターンの始めから終わりまで浮脚を伸ばした、しゃがみ立ち3回ターン、またはそれ以上(ターンの開始時に床を手で押さない)<br><br> |
| 2.108  | 2.208<br>屈身仰臥姿勢で2回以上のターン<br><br>                         | 2.308   | 2.408  | 2.508  |

4.000 – SALTOS FORWARD & SIDEWARD

| A  | B   | C   | D  | E   | F/G/H  |
|--|---|---|--|---|--|
| <b>4.101</b><br>前方宙返り(かかえ込み、屈身)<br> | <b>4.201</b><br>前方かかえ込み宙返り(1/2、1回)<br>ひねり、または前方屈身宙返り<br>1/2ひねり<br> | <b>4.301</b><br>                          | <b>4.401</b><br>                  | <b>4.501</b><br>前方かかえ込み2回宙返り<br>     | <b>4.601 - F -</b><br>前方かかえ込み2回宙返り1/2ひねり<br>、または前方屈身2回宙返り<br> |
| <b>4.102</b><br>                   | <b>4.202</b><br>前方伸身宙返り、または1/2ひねり<br>                             | <b>4.302</b><br>前方伸身宙返り(1回、1 1/2)ひねり<br> | <b>4.402</b><br>前方伸身宙返り2回ひねり<br> | <b>4.502</b><br>前方伸身宙返り2 1/2ひねり<br> | <b>4.602 - F -</b><br>前方伸身宙返り3回ひねり<br>                       |

5.000 – SALTOS BACKWARD

| A  | B  | C  | D  | E   | F / G / H / I / J   |
|--|--|--|--|---|---|
| <b>5.101</b><br>後方宙返り<br>(かかえ込み、屈身、伸身)   | <b>5.201</b><br>後方伸身宙返り 1/2ひねり、または<br>後方宙返り(かかえ込み、伸身) 1回<br>ひねり  | <b>5.301</b><br>後方伸身宙返り (1 1/2、2回)<br>ひねり  | <b>5.401</b><br>後方伸身宙返り 2 1/2ひねり   | <b>5.501</b><br>後方伸身宙返り 3回ひねり   | <b>5.601 - F -</b><br>後方伸身宙返り 3 1/2ひねり  |
| <br><i>wewew</i> | <br><br><i>E</i> | <br><br><i>E</i> | <br><br><i>E</i>       | <br><br><i>E</i>          | <br><br><i>E</i>      |
| <b>5.102</b>   | <b>5.202</b>   | <b>5.302</b>   | <b>5.402</b><br>後方かかえ込み 2回宙返り  | <b>5.502</b><br>後方 2回宙返り 1回ひねり<br>(かかえ込み、屈身)  | <b>5.602 / 5.702</b><br><b>5.802 - H -</b><br>後方かかえ込み 2回宙返り<br>2回ひねり  |
|  |  |  | <br><i>ee</i><br>後方屈身 2回宙返り  | <br><br><i>eee eee</i> | <br><br><i>eee</i> |
|  |  |  | <br><br><i>eee</i> |   | <b>5.1002 - J -</b><br>後方かかえ込み 2回宙返り<br>3回ひねり   |

**2017 FIG Vault Table**

| GROUP I |  | GROUP II |  | GROUP III |      | GROUP IV |  | GROUP V |      |  |      |      |  |      |
|---------|--|----------|--|-----------|------|----------|--|---------|------|--|------|------|--|------|
| 1.00    |  | 2.00     | Qualification: One vault must be performed. This vault score counts for Team & AA Total.                             |           |      |          |  |         |      |  |      |      |  |      |
| 1.01    |  | 2.40     | If the gymnast has been registered in the Start list to qualify for Apparatus Finlas, a 2nd vault must be performed. |           |      |          |  |         |      |  |      |      |  |      |
| 1.02    |  | 3.00     | Score of both vaults averaged = Final score.   |           |      |          |  |         |      |  |      |      |  |      |
| 1.03    |  | 3.60     | Team & AA Finals: One vault must be performed.   |           |      |          |  |         |      |  |      |      |  |      |
| 1.04    |  | 4.00     | Apparatus Final: The 2 vaults must be from different groups and may not have identical 2nd flight phases.            |           |      |          |  |         |      |  |      |      |  |      |
| 1.05    |  | 4.40     |  |           |      |          |  |         |      |  |      |      |  |      |
| 1.10    |  | 2.40     | 2.10   |           | 4.00 | 3.10     |  | 3.50    | 4.10 |  | 3.30 | 5.10 |  | 4.20 |
| 1.11    |  | 2.80     | 2.11   |           | 4.40 | 3.11     |  | 3.80    | 4.11 |  | 3.60 | 5.11 |  | 4.60 |
| 1.12    |  | 3.20     |  |           |      | 3.12     |  | 4.10    | 4.12 |  | 3.90 |      |  |      |
|         |  |          | 2.12   |           | 4.80 | 3.13     |  | 4.40    | 4.13 |  | 4.20 | 5.12 |  | 5.00 |
|         |  |          | 2.13   |           | 5.20 | 3.14     |  | 4.90    | 4.14 |  | 4.70 | 5.13 |  | 5.40 |
| 1.20    |  | 2.00     | 2.20   |           | 4.20 | 3.20     |  | 3.70    | 4.20 |  | 3.50 | 5.20 |  | 4.40 |
| 1.21    |  | 2.80     | 2.21   |           | 4.60 |          |  |         |      |  |      | 5.21 |  | 4.80 |
| 1.22    |  | 3.00     |  |           |      |          |  |         |      |  |      |      |  |      |
| 1.23    |  | 3.60     | 2.22   |           | 5.00 |          |  |         |      |  |      | 5.22 |  | 5.20 |
| 1.24    |  | 4.00     |  |           |      |          |  |         |      |  |      |      |  |      |
| 1.30    |  | 3.60     | 2.30   |           | 4.60 | 3.30     |  | 4.20    | 4.30 |  | 4.00 | 5.30 |  | 4.80 |
| 1.31    |  | 4.00     | 2.31   |           | 5.00 | 3.31     |  | 4.40    | 4.31 |  | 4.20 | 5.31 |  | 5.20 |
|         |  |          | 2.32   |           | 5.40 | 3.32     |  | 4.80    | 4.32 |  | 4.60 | 5.32 |  | 5.60 |
| 1.40    |  | 2.40     | 2.33   |           | 5.80 | 3.33     |  | 5.20    | 4.33 |  | 5.00 | 5.33 |  | 6.00 |
|         |  |          | 2.34   |           | 6.20 | 3.34     |  | 5.60    | 4.34 |  | 5.40 | 5.34 |  | 6.40 |
|         |  |          |  |           |      | 3.35     |  | 6.00    | 4.35 |  | 5.80 |      |  |      |
| 1.50    |  | 2.60     | 2.40   |           | 5.20 |          |  |         | 4.40 |  | 4.00 |      |  |      |
| 1.51    |  | 3.00     | 2.41   |           | 5.60 |          |  |         | 4.41 |  | 4.40 |      |  |      |
| 1.52    |  | 3.40     |  |           |      |          |  |         | 4.42 |  | 4.60 |      |  |      |
| 1.53    |  | 3.80     |  |           |      |          |  |         | 4.50 |  | 4.20 |      |  |      |
|         |  |          | 2.50   |           | 6.40 |          |  |         | 4.51 |  | 4.60 |      |  |      |
| 1.60    |  | 2.80     |  |           |      |          |  |         | 4.52 |  | 5.00 |      |  |      |
| 1.61    |  | 3.20     |  |           |      |          |  |         | 4.53 |  | 5.40 |      |  |      |
| 1.62    |  | 3.80     |  |           |      |          |  |         |      |  |      |      |  |      |

|   | A-.100  | B-.200 | C-.300 | D-.400  | E-.500 | F-.600 | G-.700 |
|---|---------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|
| ↑ | 01 L L  |        |        |         |        |        |        |
|   | 02 U U  | ়ু     |        |         |        |        |        |
|   | 03 L L  | L S    |        |         |        |        |        |
|   | 04 R S  | S ৰ    | ৰ      |         |        |        |        |
|   | 05 ৰ    |        |        |         |        |        |        |
|   | 06 ৱ    | ়া V র | ৱ      | ৱ       |        |        |        |
|   | 07      | ৰৰ     | ৰ ৰ    | ৰ       |        |        |        |
|   | 08      | ৱ      | ৱ      | ৱ       |        |        |        |
|   | 09      |        |        | ৰেৰ রৰ  | ৰৰ     | ৰৰ     | ৰৰ     |
|   | 10      | ৰ      | ৰ র    | ৰ       |        |        |        |
|   | 11      |        |        | ৰেৰ ৰেৰ |        |        |        |
| ↗ | 01 ৱ    | ৱ ব ব  | ৱ      | ৱ       |        |        |        |
|   | 02      | ৰ      | ৰ      | ৰ       |        |        |        |
|   | 03      |        | ৰ      | ৰ       | ৰ      |        |        |
|   | 04 O    |        |        | ৰ       |        |        |        |
|   | 05 O o. |        | ৰ      | ৰ       | ৰ      | ৰ      |        |
|   | 06      | ৰ      |        | ৰ       | ৰ      | ৰ      |        |
|   | 07      |        | ৰ      |         |        |        |        |
| ↙ | 01      | ৰ র    | ৰ      | ৰ       |        |        |        |
|   | 02      |        | ৰ      | ৰ       | ৰ      |        |        |
|   | 03      |        | ৰ      | ৰ       | ৰ      |        |        |
|   | 04      |        |        | ৰ       |        |        |        |
|   | 05      |        |        | ৰ       | ৰ      | ৰ      |        |
|   | 06      |        |        | ৰ       | ৰ      | ৰ      |        |
|   | 07      |        |        | ৰ       |        |        |        |
|   | 08      |        |        | ৰ       | ৰ      | ৰ      |        |
|   | 09      |        |        | ৰ       | ৰ      | ৰ      |        |
|   | 10      |        |        | ৰ       | ৰ      | ৰ      |        |

|         | A.-100 | B.-200 | C.-300   | D.-400   | E.-500 | F.-600 | G.-700 |
|---------|--------|--------|----------|----------|--------|--------|--------|
| 4.<br>X | ⊗-     | ✗✗     | ✗! ✗!    | ✗!       |        |        |        |
|         | ⊗.     |        |          | ⊗!       | ✗ ✗→   | ✗ ✗ ✗→ |        |
|         | ~⊗-    |        |          | ✗! ~✗!   | ✗! ~✗! |        |        |
|         | ⊗      |        | ✗! ✗!    | ✗!       | ✗!     |        |        |
|         |        | ✗✓     | ✗✓       | ✗✓       | ✗✓     |        |        |
|         | ⊗      |        |          | ✗!       | ✗!     |        |        |
|         | ⊗      |        |          | ✗!       | ✗!     |        |        |
|         |        | ✗✓     | ✗✓       |          | ✗✓/✗✓  |        |        |
| 5.<br>W | ⊖→     |        | ⊖→ ⊖→ ⊖→ |          | ⊖→ ⊖→  |        |        |
|         |        | ⊖↓     | ⊖⊖       | ⊖⊖ ⊖⊖ ⊖⊖ |        |        |        |
|         |        |        | ⊖⊖       | ⊖⊖       |        |        |        |
|         | ⊖      |        | ⊖⊖       | ⊖⊖       |        |        |        |
|         | ⊖      |        | ⊖⊖       | ⊖⊖       |        |        |        |
|         | ~⊖     |        | ⊖⊖       | ⊖⊖       |        |        |        |
|         |        | ⊖⊖     | ⊖⊖       |          |        | ⊖⊖     |        |
|         | ⊖      |        | ⊖⊖       | ⊖⊖       | ⊖⊖     |        |        |
|         |        |        |          | ⊖⊖       | ⊖⊖/⊖⊖  |        |        |
|         |        |        |          | ⊖⊖       | ⊖⊖     | ⊖⊖     | ⊖      |
| 6.<br>↓ | ⊖⊖ ⊖⊖  | ⊖⊖     | ⊖⊖ ⊖⊖ ⊖⊖ | ⊖⊖ ⊖⊖    |        |        |        |
|         | ⊖⊖ ⊖⊖  |        | ⊖⊖ ⊖⊖ ⊖⊖ | ⊖⊖ ⊖⊖ ⊖⊖ | ⊖⊖ ⊖⊖  | ⊖⊖     |        |
|         |        |        | ⊖⊖ ⊖⊖    | ⊖⊖ ⊖⊖    | ⊖⊖ ⊖⊖  |        |        |
|         | ⊖⊖     | ⊖⊖     | ⊖⊖       | ⊖⊖       | ⊖⊖     | ⊖⊖     |        |
|         |        | ⊖⊖     | ⊖⊖       | ⊖⊖       | ⊖⊖     | ⊖⊖     | ⊖⊖     |
|         |        |        | ⊖⊖       | ⊖⊖       | ⊖⊖     | ⊖⊖     | ⊖⊖     |
|         |        |        |          | ⊖⊖       | ⊖⊖     | ⊖⊖     | ⊖⊖     |
|         | ⊖⊖ ⊖⊖  | ⊖⊖ ⊖⊖  | ⊖⊖ ⊖⊖    | ⊖⊖ ⊖⊖    | ⊖⊖ ⊖⊖  | ⊖⊖ ⊖⊖  | ⊖⊖ ⊖⊖  |
|         |        |        |          |          |        |        |        |
|         |        |        |          |          |        |        |        |

|       | A-100 | B-200 | C-300 | D-400 | E-500 | F-600 | G-700 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 01 | ʃ     | t̪    |       | /z    |       |       |       |
| 02    | ʃ̄    | /     |       | /t̪   |       |       |       |
| 03    | χ̄    | χ̄    |       | χ̄    |       |       |       |
| 04    | χ̄    | χ̄    |       | χ̄    |       |       |       |
| 05    | χ̄    | t̪    | t̪    | t̪    |       |       |       |
| 06    | χ̄    |       |       |       |       |       |       |
| 07    |       |       |       |       |       |       |       |
| 08    | χ̄    | χ̄    |       |       |       |       |       |
| 09    |       | L M M |       |       |       | M     |       |
| 10    | M     | M     | M     | M     | M     | M     |       |
| 11    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    |       |
| 12    |       | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    |       |
| 13    |       | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    |       |
| 14    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    |       |
| 15    |       | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    |       |
| 16    |       |       |       | t̪    | t̪    | t̪    | t̪    |
| 17    |       |       |       | M     | M     | M     | M     |
| 18    |       |       |       | M     | M     | M     | M     |
| 19    |       |       |       | M     | M     | M     | M     |

|       | A-100 | B-200 | C-300 | D-400 | E-500 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2. 01 | o     | o     | o     | o     | o     |
| 02    |       | o     | o     | o     |       |
| 03    |       | o     | o     | o     |       |
| 04    |       | o     | o     | o     |       |
| 05    | w     |       | z     | z     | z     |
| 06    |       | z     | za    | za    | za    |
| 07    | v     | v     |       | v     |       |
| 08    | "     | "     | "     | "     | "     |
| 09    | Y     | o     | ø     |       |       |
| 10    | m     | m̄    | m̄    |       |       |
| 11    | ñ     | ñ     | ñ     |       |       |
| 12    | w     | w̄    | w̄    | w̄    | w̄    |
| 3. 01 | o     | ø     |       | ø     | ø     |
| 02    |       |       | o     | ø     |       |
| 03    |       |       | o     | ø     |       |
| 04    |       |       | o     | ø     | ø     |
| 05    |       |       | o     | ø     | ø     |
| 06    |       | u     |       | ø     |       |
| 07    | ø     | ø     | ø     |       |       |
| 08    | w̄    | w̄    | w̄    | w̄    | w̄    |
| 09    |       | ø     | ø     | ø     | ø     |
| 4. 01 | χ̄    |       |       |       |       |
| 02    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    |
| 03    | !     | !     | !     | !     | !     |
| 04    | χ̄    |       | χ̄    |       |       |
| 05    |       |       | χ̄    |       |       |
| 06    |       | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    |
| 07    | X     | X     | X     | X     | X     |
| 08    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    |
| 09    |       | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    |
| 10    |       |       | χ̄    | χ̄    | χ̄    |

|       | A-100 | B-200 | C-300 | D-400 | E-500 | F-600 | G-700 | H-800 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 5. 01 |       | u u   | u     | u     | u     | u     | u     |       |
| 02    |       | u     | u     | u     | u     | u     | u     |       |
| 03    |       |       | u     | u     | u     | u     | u     |       |
| 04    |       | u u   | u     | u     | u     | u     | u     |       |
| 05    |       |       | u u   | u     | u     | u     | u     |       |
| 06    |       | u u   | u     | u     | u     | u     | u     |       |
| 07    | ø     | ø     | ø     | ø     | ø     | ø     | ø     |       |
| 08    |       |       | ø     | ø     | ø     | ø     | ø     |       |
| 09    |       |       |       | ø     | ø     | ø     | ø     |       |
| 10    |       |       |       | ø     | ø     | ø     | ø     |       |
| 11    |       |       |       |       | ø     | ø     | ø     |       |
| 12    |       |       |       |       | ø     | ø     | ø     |       |
| 13    |       |       |       |       | ø     | ø     | ø     |       |
| 6. 01 | χ̄    |       |
| 02    | χ̄    |       |
| 03    |       | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    |       |
| 04    | χ̄    |       |
| 05    |       |       | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    | χ̄    |       |
| 06    | χ̄    |       |
| 07    | χ̄    |       |

|    | A-100                        | B-200                      | C-300               | D-400                      | E-500                 |
|----|------------------------------|----------------------------|---------------------|----------------------------|-----------------------|
| 1. | — <u>o</u>                   | <u>o</u>                   | <u>o</u>            | <u>o</u>                   |                       |
|    |                              | <u>y</u>                   | <u>o</u>            |                            |                       |
|    | <u>n</u> <u>o</u>            | <u>A</u>                   |                     |                            |                       |
|    |                              | <u>zA</u>                  | <u>z</u> <u>zA</u>  | <u>z</u> <u>zA</u>         |                       |
|    | <u>w</u>                     | <u>z</u>                   | <u>z</u>            | <u>z</u>                   |                       |
|    | <u>v</u>                     | <u>w</u>                   | <u>v</u>            |                            |                       |
|    | <u>"A</u>                    | <u>"A</u> <u>o</u>         | <u>"A</u> <u>o</u>  | <u>"A</u> <u>o</u>         |                       |
|    | <u>"y</u> <u>"y</u> <u>E</u> | <u>"y</u> <u>E</u>         |                     |                            |                       |
|    | <u>"o</u> <u>"o</u> <u>y</u> | <u>y</u> <u>y</u> <u>y</u> | <u>o</u>            | <u>o</u> <u>o</u> <u>y</u> |                       |
|    |                              | <u>o</u>                   |                     |                            |                       |
|    | <u>m</u>                     | <u>o</u>                   |                     |                            |                       |
|    | <u>E</u> <u>y</u>            | <u>y</u>                   | <u>y</u>            |                            |                       |
|    |                              | <u>"o</u>                  | <u>"o</u> <u>"o</u> |                            |                       |
|    | <u>w</u>                     | <u>w</u> <u>w</u> <u>E</u> |                     | <u>w</u>                   |                       |
| 2. | <u>o</u>                     |                            |                     |                            | ④                     |
|    |                              |                            |                     |                            |                       |
|    |                              |                            |                     |                            |                       |
|    |                              |                            |                     |                            |                       |
|    |                              |                            |                     |                            |                       |
|    |                              |                            |                     |                            |                       |
|    |                              |                            |                     |                            |                       |
|    | <u>w</u> <u>w</u>            | <u>w</u>                   | <u>w</u> <u>w</u>   | <u>w</u>                   | <u>w</u> <sup>③</sup> |

|    | A-100                      | B-200                      | C-300             | D-400                      | E-500             | F-600             | G-700             | H-800             | I-900             | J-1.00            |
|----|----------------------------|----------------------------|-------------------|----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 3. | <u>N</u> <u>o</u>          |                            |                   |                            |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|    |                            |                            |                   |                            |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|    | <u>o</u>                   |                            |                   |                            |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|    | <u>n</u> <u>o</u>          |                            |                   |                            |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|    | <u>o</u> <u>n</u>          |                            |                   |                            |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|    | <u>o</u> <u>o</u> <u>m</u> |                            |                   | <u>o</u> <u>e</u> <u>o</u> |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|    | <u>m</u>                   |                            |                   |                            |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
| 4. | <u>o</u> <u>o</u>          | <u>o</u> <u>o</u> <u>o</u> |                   |                            |                   | <u>o</u>          | <u>o</u> <u>o</u> |                   |                   |                   |
|    | <u>o</u>                   | <u>o</u> <u>o</u>          | <u>o</u> <u>o</u> | <u>o</u> <u>o</u>          | <u>o</u> <u>o</u> | <u>o</u>          | <u>o</u> <u>o</u> |                   |                   |                   |
|    | <u>m</u>                   |                            |                   |                            |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|    | <u>x</u> <u>y</u>          |                            |                   |                            |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|    | <u>m</u>                   | <u>m</u> <u>m</u>          |                   |                            |                   | <u>m</u> <u>m</u> | <u>m</u> <u>m</u> |                   |                   |                   |
| 5. | <u>o</u> <u>y</u>          | <u>o</u> <u>o</u>          | <u>o</u> <u>o</u> | <u>o</u> <u>o</u>          | <u>o</u> <u>o</u> | <u>o</u>          | <u>o</u>          |                   |                   |                   |
|    |                            |                            |                   |                            |                   | <u>o</u> <u>o</u> |
|    |                            |                            |                   |                            |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|    | <u>m</u>                   | <u>m</u>                   | <u>m</u>          | <u>m</u>                   | <u>m</u>          |                   |                   |                   |                   |                   |

# 第 49 回世界体操競技選手権大会審判員報告

審判委員会体操競技女子審判本部

本部長 大森 智子

本部員 高橋 洋子

開催地：ドイツ シュトゥットガルト

大会期日：2019 年 9 月 28 日（土）～10 月 15 日（火）

スケジュール：

9 月 28 日（土）出国、現地到着

9 月 29 日（日）女子審判会議、抽選（予選）

9 月 30 日（月）女子ボディウム

10 月 1 日（火）女子ボディウム

10 月 2 日（水）男子ボディウム

10 月 3 日（木）男子ボディウム

10 月 4 日（金）女子競技 予選 1 日目

10 月 5 日（土）女子競技 予選 2 日目

10 月 6 日（日）男子競技 予選 1 日目

10 月 7 日（月）男子競技 予選 2 日目

10 月 8 日（火）女子競技 団体決勝、抽選（団体決勝）

10 月 9 日（水）男子競技 団体決勝

10 月 10 日（木）女子競技 個人総合決勝

10 月 11 日（金）男子競技 個人総合決勝、女子ラウンドテーブル

10 月 12 日（土）男女競技 種目別決勝 1 日目、抽選（種目別 1）

10 月 13 日（日）男女競技 種目別決勝 2 日目、抽選（種目別 2）

10 月 14 日（月）出国

10 月 15 日（火）日本 到着

## 参加国

選手：79 カ国（チーム参加 24 カ国、個人参加 55 カ国） 234 名（演技者）

## チーム出場

ARG · AUS · BEL · BRA · CAN · CHN · CZE · EGY · ESP · FRA · GBR · GER · HUN ·  
ITA · JPN · KOR · MEX · NED · PRK · ROU · RUS · SUI · UKR · USA

## 個人出場

ALG · ARM · AUT · AZE · BLR · BOL · BUL · CAY · CHI · COL · CRC · CRO · CUB ·  
CYP · DEN · DOM · ECU · ESA · FIN · GEO · GRE · GUA · HKG · INA · IND · IRL ·

ISL・ISR・JAM・LAT・LTU・LUX・MAS・NGR・NOR・NZL・PAN・PER・POL・POR・PUR・RSA・SGP・SLO・SRB・SRI・SVK・SWE・TPE・TUN・TUR・URU・UZB・VEN・VIE

審判：62 力国（83名：D 審判8名・R 審判8名・各国帯同審判 67名）

ARG・AUS・AUT・AZE・BEL・BLR・BRA・BUL・CAN・CHI・CHN・COL・CRC・CRO・CYP・CZE・ECU・EGY・ESP・FIN・FRA・GBR・GEO・GER・GRE・HUN・IRL・ISL・ISR・ITA・JPN・KOR・LTU・LUX・MAS・MEX・NED・NOR・NZL・PAN・PER・POL・POR・PRK・PUR・ROU・RSA・RUS・SGP・SLO・SUI・SVK・SWE・TPE・TUN・TUR・UKR・URU・USA・UZB・VEN・VIE

会場：Hanns-Martin-Schleyer-Halle , Porsche-Arena

(外観)



(観客席から見た本会場)



### (審判席)



審判席は、各種目のポディウムの外側に並列に配置されており、各審判員の席には一人ずつ仕切りがあり、視界を限定させているような席であった。



### ライン審判員のモニター

ライン審判の席は、D 審判団、E 審判団と同じ並びに位置し、境界線の踏み越しはモニターを見て確認をし、判断をするものであった。特にゆかの奥のコーナーを見るのは非常に見えにくく踏み越しを判断するのが難しいとのことであった。



選手がラインを踏み越したことを見た場合は、ライン審判はその場で旗を上げることになっていたが、審判席が演技台より離れていてさらに照明も当たらぬ暗い場所に設置されているため、演技している選手はもちろん観客席からも旗が揚がったことを確認しにくい状況であった。



#### 審判編成：

今回の大会では FIG 技術委員は以下のように配置されていた。

審判長： Donatella SACCHI

上級審判員： Liubov ANDRIANOVA, Nadezda SEILE

Supervisor : 跳馬 Johanna GRATT

: 段違い平行棒 Qiurui ZHOU

: 平均台 Elena DAVYDOVA

: ゆか Kym DOWDELL

今サイクルの FIG 技術委員である Tatiana Borisovna PERSKAIA が、今大会は都合により大会に参加できないため今大会のみ Nadezda SEILE (LAT) をメンバーとして迎い入れて技術委員の役割を担うとの説明があった。

D 審判団は事前に FIG 技術委員より指名され決定されており、全競技を通して同じ種目を担当する。各種目の担当は以下の通り。

|             |        |   |
|-------------|--------|---|
| D<br>審<br>判 | 跳馬     | D1 LJUBANCIC Julija (CRO)<br>D2 WOOLF Michelle Jayne (NZL)              |
|             | 段違い平行棒 | D1 HADE Trisha Maree (AUS)<br>D2 ALVARADO CLEMENTE Lisseth Amelia (ECU) |
|             | 平均台    | D1 MIHAILESCU GRIGORAS Anca (ROU)<br>D2 ZAYED Nehad (EGY)               |
|             | ゆか     | D1 LISKAROVA Hana (CZE)<br>D2 IOANNOU Maria (CYP)                       |

## **審判抽選**

D 審判団同様 R 審判も事前に 8 名指名されており、R 審判についてはそれぞれの競技毎に担当種目を抽選で決定した。

抽選は、毎回最初に R 審判、次いで E 審判、アシスタント、補審の順で行われた。E 審判についてはスーパーバイザー、D 審判、R 審判に同国の審判が配置されている場合は同じ種目には入れないというルールで、跳馬 E1、段違い平行棒 E1、平均台 E1、ゆか E1 の順に抽選が進められた。今大会は、審判会議の日に予選と個人総合決勝の抽選が行われ、団体決勝、種目別決勝についてはそれぞれの競技の当日の抽選ということになり、団体決勝、種目別決勝に出場する国以外の審判は競技当日にならなければ審判に入るのかどうかわからない状態で、抽選後すぐに競技に臨まなければならないため、どの種目の担当にあたってもすぐに対応できる準備が必要であった。

団体決勝の抽選は、団体決勝に出場する国と予選で審判に入った国を除いての抽選であったため、団体決勝に出場する国で予選の審判に入れなかった国以外は予選、団体決勝で全て審判に入ることができた。団体決勝に出場し、予選の審判に入れなかった国は種目別決勝の抽選に優先的に入ることができたため、国単位で考えれば全ての国がいずれかの競技の審判に入ることができたと言える。しかし、団体出場の国は帶同審判員を最大 2 名選出することができるため、2 名で参加している国は 2 名のうち 1 名しか審判に入れないということも起きてしまう。今回もチーム出場している国で中国、ブラジル、スイス、ベルギーは 2 名のうち 1 名は E 審判にもアシスタントにも入れなかった。特に団体決勝、種目別決勝に出場することができる国は審判をするチャンスが少なくなると言える。日本の抽選結果は以下の通り。

抽選結果：団体決勝 平均台 E 4 高橋洋子  
種目別決勝 平均台 計時 大森智子

## **審判会議：**

FIG 技術委員長、メンバーによって採点規則 2017 年版のルールの解説が行われたが、現行ルールの施行も 3 年目となり、オリンピックも数ヶ月後の開催に迫っている時期であるため、ルールの変更、追加等の説明はなく、これまで説明を受けてきたルールの再確認であった。以前の世界選手権の審判会議では各種目とも難度の承認や減点についてなど時間をかけて説明があったが、このサイクルからは全体の審判会議では E 審判に関わる減点についての説明のみになり、D スコアに関わる難度の承認については説明を受けることができなかった。そのため、D スコアに関わる技の承認や組み合わせなどの疑問点については、会議の前後で技術委員に直接問い合わせをして内容を確認した。

**跳馬：**

**<傾向>**

今大会の E スコアの傾向を見ると、すべての競技で実施された 300 跳躍（予選 236 跳躍、団体決勝 24 跳躍、個人決勝 24 跳躍、種目別決勝 16 跳躍）のうち、9.30 以上の E スコアを獲得できた跳躍は 10 跳躍、全体の 3%に過ぎず、獲得できた選手は 4 名のみであった。

(USA : BILES 選手、CAREY 選手、ITA : VILLA 選手、FRA : DOS SANTOS 選手)

予選の競技（236 跳躍）だけで見ると、9.20 以上のスコアは全体の 5%であったが、9.00 以上 9.20 未満 19%、8.80 以上 9.00 未満 36%で、8.80～9.20 の中に全体の半数以上が占めることとなり、スコアの差が非常に出にくいくらいであった。（8.50 以上 8.80 未満は全体の 25%、8.50 未満 12%）減点の傾向は、現行ルールでは高さ、距離の減点幅が狭いため、跳躍の高さや距離よりも第 2 空中局面で着地前の姿勢が正確であるか（伸身姿勢の跳躍であれば着地まで伸身姿勢を保つ、かかえ込み、屈身姿勢の跳躍であれば着地前に身体を伸ばす）、高い着地姿勢、安定した着地ができているかどうかで E スコアが左右する傾向であった。高さのある跳躍であっても、伸身姿勢を保てず着地前に屈身姿勢が見えてしまったり、着地をコントロールできず大きく一步踏み出てしまったり、着地姿勢が低くなる跳躍には厳密に減点がなされていた。

**<課題>**

日本選手は、出場 24 チーム中 E スコアのランクは 13 位（松村選手 9.100、畠田選手 9.033、杉原選手 9.033、寺本選手 8.833）D スコアのランク、トータルのスコアのランクは 9 位であった。チーム得点を上げていくにはチームでいかに D スコアを上げていくか、その上で安定した跳躍を実施する必要があるのではないか。団体決勝に進出した 8 チームを見ると、8 チーム中 6 チームはチーム得点となる 3 人が D スコア 5.40 以上の跳躍技を実施している。日本選手は寺本選手が D スコア 5.80 の跳躍技を成功させたが、他の 3 人に関しては 3 人とも D スコア 5.00 の跳躍技で競技に臨んだ。また、オリンピックのチーム出場の権利の獲得を逃したオーストラリア（予選 13 位）、ブラジル（予選 14 位）を見てもオーストラリアは 4 名がすべて D スコア 4.80 以下、ブラジルは 4 名中 2 名が 4.60 の跳躍技の実施であった。一概に一種目だけで判断することはできないが、上位に食い込むためにはチーム 4 演技のうち少なくとも 3 演技は 5.40 以上の跳躍技を実施できることが必要ではないか。ただし、実施できればいいということではなく、着地姿勢や着地で減点されない実施ができなければ、結果的にスコアは上がっていない。D スコアだけのランクで 3 位に入っているのが予選順位 20 位の北朝鮮である。北朝鮮チームは、チーム 4 名のうち 3 名が D スコア 5.40 の跳躍技、1 名が 5.80 の跳躍技を実施したが、E スコアの平均は 8.733、跳馬だけの順位は 12 位であった。高い D スコアを求めるることは必須ではあるものの、完成度の高い実施ができなければ上位国とは戦うことができない。跳躍台から大きく突き上がり、高さのあるダイナミックな跳躍を求めるることは言うまでもないが、着地の先取りができず着地姿勢が低くなったり、着地の大きな乱れは高得点に結びつかないため、第 2 空中局面において正確な宙返りの姿勢から着地の先取りをして高い着地姿勢で安定した着地を突き詰めることが重要である。

表・1 予選上位 8 カ国と日本の跳馬のチーム得点と D・E スコアの平均

| 団体予選順位 | 国名  | チーム得点  |    | D スコアの平均 |   | E スコアの平均 |    |
|--------|-----|--------|----|----------|---|----------|----|
| 1      | USA | 44.932 | 1  | 5.800    | 1 | 9.277    | 1  |
| 2      | CHN | 43.265 | 5  | 5.400    | 6 | 9.021    | 10 |
| 3      | RUS | 43.666 | 3  | 5.533    | 3 | 9.022    | 8  |
| 4      | FRA | 43.900 | 2  | 5.533    | 3 | 9.100    | 4  |
| 5      | CAN | 42.933 | 7  | 5.600    | 2 | 8.744    | 23 |
| 6      | NED | 42.733 | 10 | 5.267    | 9 | 8.977    | 14 |
| 7      | GBR | 42.532 | 13 | 5.267    | 9 | 8.910    | 18 |
| 8      | ITA | 43.666 | 3  | 5.400    | 6 | 9.155    | 2  |
| 11     | 日本  | 42.766 | 9  | 5.267    | 9 | 8.988    | 13 |

\* スコアの右の数字は種目ごとの順位

\* 平均のスコアは各チームのベスト 3 の平均

段違い平行棒：

<傾向>

団体予選で日本より上位 10 カ国のスコアを見ると（表 2 参照）カナダ、オランダを除いた 8 カ国はチーム（ベスト 3）の D スコアの平均が 6.00 前後であることがわかる。演技構成だけを見ても、日本チームは演技の中に組み合わせ点を獲得できたのは 4 人の演技を合わせても 0.60、上位国については合計で 1.00 以上、多くは 1.50 以上獲得しており、演技構成上で大きく差をつけられていると言える。注目したいのは、上位につけている国は D スコアが高いだけでなく、過失や欠点も少なく、順位と比例しているかのように E スコアも高いということである。やみくもに技の難度を上げている印象はなく、姿勢欠点なく過失を最小限に抑えた正確な実施が伺えた。

<課題>

日本は近年段違い平行棒に関しては難度の高い技、組み合わせへの取り組みが課題となっていたが、今大会においても演技内容の差が浮き彫りとなったことは明らかであり、さらに演技中の選手の身体の姿勢、体線の美しさをもっと追い求めなければならないということを改めて考えさせられることとなった。日本より下位の国であっても難度の高い技や組み合わせを演技に組み込んでおり、それだけでなく過失や技術的な失敗はあるもののつま先や脚の緩み、身体の姿勢の乱れなど姿勢欠点が目立つことはなかった。近年、国内の選手の中には、常につま先や膝が緩んだまま技を実施している選手や倒立姿勢で身体がまっすぐにならない選手などが多く目立つようになった。日本全体として難度の高い技、組み合わせへの取り組みは急務であるが、つま先が伸ばせない、膝が緩むなどの姿勢欠点があるまま技を実施しても結果的には高いスコアは望めないことを認識していただきたい。他国の状況を目の当たりにすると高い難度の技の習得ばかりに目が行きがちになるが、基本姿勢を疎かにして高い E スコアは望めない。特に基本を身につける世代であるジュニア層の育成では基本に立ち戻り、美しい姿勢での技の実施を習得していただきたい。

表・2 予選上位 10 カ国と日本の段違い平行棒のチーム得点と D・E スコアの平均・CV 合計

| 団体予選順位 | 国名  | チーム得点  |    | D スコアの平均 |    | E スコアの平均 |    | CV (4 演技の合計) |
|--------|-----|--------|----|----------|----|----------|----|--------------|
| 1      | USA | 44.374 | 2  | 6.233    | 2  | 8.558    | 2  | 2.00         |
| 2      | CHN | 43.765 | 3  | 5.967    | 5  | 8.621    | 1  | 1.70         |
| 3      | RUS | 44.416 | 1  | 6.333    | 1  | 8.472    | 3  | 2.30         |
| 4      | FRA | 43.166 | 4  | 6.000    | 4  | 8.388    | 5  | 1.40         |
| 5      | CAN | 41.199 | 12 | 5.400    | 12 | 8.333    | 8  | 0.90         |
| 6      | NED | 40.999 | 13 | 5.300    | 17 | 8.366    | 6  | 1.20         |
| 7      | GBR | 43.099 | 5  | 6.033    | 3  | 8.333    | 8  | 1.80         |
| 8      | ITA | 42.566 | 7  | 5.933    | 6  | 8.255    | 11 | 1.70         |
| 9      | GER | 42.766 | 6  | 5.800    | 7  | 8.455    | 4  | 1.50         |
| 10     | BEL | 42.040 | 8  | 5.800    | 8  | 8.213    | 12 | 1.20         |
| 11     | 日本  | 41.232 | 11 | 5.567    | 10 | 8.177    | 13 | 0.60         |

\* スコアの右の数字は種目ごとの順位 \* 平均のスコアは各チームのベスト 3 の平均

平均台 :

<傾向>

今大会では予選、決勝とも全体的に大過失が非常に多かった。予選 12 チームで大過失がなかった国は日本とロシア、フランスの 3 カ国のみ、団体決勝 8 チームの中ではイギリス 1 カ国のみであった。種目の特性上大過失につながる実施になりやすい種目であるため、その過失の数によって大きく順位が変動する。予選総合 8 位で通過したイタリアは決勝では全体で大過失を 1 回のみに抑え、見事銅メダルを獲得した。平均台の実施は総合順位にも大きく影響を与えている。日本は、演技をした 4 名とも大過失なく演技をしたが、0.30/0.50 の減点が伴うような大きなふらつきがあったこと、ダンス系の技（ジャンプ、リープ、ターン）で正確な姿勢をとることができず姿勢の減点が発生してしまうなど大過失がなかったものの得点を伸ばすことができなかった。

ダンス系の技については採点規則に記載されている技の承認要求を満たせない実施になれば中欠点として判断され 1 つの技の実施で 0.30/0.50 減点される可能性がある。さらに正確に実施できなければ正確さの減点も併用される。特に輪とび、横向きのジャンプに関しては正確に実施できなければ減点が非常に大きい。輪とびに関しては、スーパーバイザーより胸を張っているように見えても、上体が起き上がった状態で頭を後屈するだけではアーチ姿勢がないと判断されるため、上体をしっかりと後ろに傾け自身の脚が見えるまで反るように、という指摘があった。また、横向きのジャンプに関しては、審判会議の説明の中でも姿勢の減点だけでなく高さがなければ高さの減点 0.10/0.30 を適用するように説明があった。日本選手の構成には横向きのジャンプは今回入っていなかったが、横向きのジャンプを構成に入れている選手で高さが不十分な実施、正確さに欠ける実施には厳密に減点がなされている印象であった。

### <課題>

今年度採点指針として「欠点のない美しい姿勢での正確な技の実施」「確実な技の実施による完成度の高い演技」を掲げてきた。特に欠点のない姿勢で正確に技を実施することについては普遍的な課題であり、審判、指導者ともに常に認識することが重要であると考える。

表-3 予選上位8カ国と日本の平均台のチーム得点とD・Eスコアの平均

| 団体予選順位 | 国名  | チーム得点  | Dスコアの平均 | Eスコアの平均 |
|--------|-----|--------|---------|---------|
| 1      | USA | 41.666 | 2       | 6.033   |
| 2      | CHN | 43.066 | 1       | 6.267   |
| 3      | RUS | 39.299 | 5       | 5.367   |
| 4      | FRA | 39.482 | 3       | 5.400   |
| 5      | CAN | 39.333 | 4       | 5.433   |
| 6      | NED | 38.999 | 6       | 5.300   |
| 7      | GBR | 38.899 | 7       | 5.333   |
| 8      | ITA | 36.999 | 15      | 5.200   |
| 11     | 日本  | 38.565 | 8       | 5.300   |
|        |     |        |         | 7.555   |
|        |     |        |         | 9       |

\*スコアの右の数字は種目ごとの順位

\*平均のスコアは各チームのベスト3の平均

ゆか :

### <傾向>

今大会では特に着地に対する減点のウエイトが大きかった印象である。着地の乱れ、低い着地姿勢になってしまった実施は厳密に減点をされており、宙返りの着地をいかに直立に近い状態で着地できるか、余分なステップをせずに着地を止められるかがスコアを大きく左右していた。

今大会で2回宙返り3回ひねり（新たにJ難度として承認）の新技を披露したアメリカのBILES選手は、団体決勝の競技では新技を含めたすべてのアクロラインをわずかなとびで着地を抑え、Eスコアは8.733という今大会のベストスコアを獲得した。しかし、個人総合決勝の競技では大きく着地が乱れ、着地の減点が響きEスコア8.200という結果であった。日本選手も、着地姿勢が低くなってしまったり、着地を抑えられずに大きくステップしてしまったことが影響しスコアを伸ばすことができなかった。他の選手も同様でゆかに関してはアクロバット系の技の着地の印象は非常に大きいということを実感した。

また、今回同じように印象に残ったことが音楽の選曲と表現力についてである。注目したいのが団体予選 10 位につけたベルギーである。決して高い難度の技を実施しているわけではなく、確実に実施できる技の選択と審判に減点をさせる機会を減らした構成で、さらにストーリー性のある印象深い音楽と個性的な振り付けで E スコアだけのランクでは予選 24 チーム中 1 位についた。また、個人ではブラジルの SARAЕVA 選手のゆかの演技が非常に魅力的で印象深かった。音楽が流れた瞬間に一瞬で会場全体を惹きつける誰もが知っているフレーズの曲で、観客から演技中に拍手が起こるようなテンポの良さと振り付け、魅力的な表現でまさに観ている人を魅了する演技であった。

## <課題>

選手個人の表現力の高さや工夫された振り付けも当然重要であるが、演技を印象付けるのに音楽が持つ力は非常に大きい。欧米選手に比べ、日本選手は感情が表情に現れにくいため表情が薄く見えがちである。そこをカバーしていくには魅力的な振り付けと音楽の選択が必要になってくるであろう。今回、日本選手の演技は技の実施如何ではなく全体として印象が薄く映った。演技が始まても観客がゆかに注目するようなインパクトや引き込まれるような魅力を感じられず、音楽や振り付けが印象に残りづらかった。ポップな曲調でもエレガントな曲調でも観ている人の心を動かすような音楽の選択を考えていく必要があると感じた。

表-4 予選上位 11 カ国のゆかのチーム得点と D・E スコアの平均

| 団体予選順位 | 国名  | チーム得点  | D スコアの平均 | E スコアの平均 |
|--------|-----|--------|----------|----------|
| 1      | USA | 43.233 | 1        | 6.200    |
| 2      | CHN | 39.065 | 8        | 5.133    |
| 3      | RUS | 40.699 | 2        | 5.600    |
| 4      | FRA | 40.165 | 3        | 5.267    |
| 5      | CAN | 39.457 | 7        | 5.133    |
| 6      | NED | 39.932 | 4        | 5.233    |
| 7      | GBR | 37.433 | 20       | 5.233    |
| 8      | ITA | 38.700 | 11       | 4.900    |
| 9      | GER | 38.166 | 15       | 5.033    |
| 10     | BEL | 39.732 | 6        | 4.800    |
| 11     | 日本  | 38.665 | 12       | 5.100    |
|        |     |        | 13       | 7.788    |
|        |     |        |          | 15       |

\*スコアの右の数字は種目ごとの順位

\*平均のスコアは各チームのベスト3の平均

## D スコアの問い合わせ (Inquiry) について :

今回全競技を通じて各国から出された D スコアの問い合わせが非常に多かった。これまで問い合わせがあると大型モニターに「どこの国どの選手から D スコアの問い合わせが提出された」という掲示が出て、審判長と上級審判が確認後その問い合わせを「受け入れ」または「却下」したことだけが発表されていたが、今回は「受け入れ」「却下」ではなく「スコアに変更なし」「スコア変更」という発表であった。スコア変更の場合は、新たなスコアがモニターに表示される。今回は、問い合わせがあった演技を審判長と上級審判が再度採点し直し、スコアを変更することが多く、問い合わせを受け入れスコアが上がったケースもあるが、再度見直したことでスコアが最初に掲示されたスコアよりも下がってしまったケースもあり、我々審判員もこれまでなかったケースであったため非常に驚いた。今大会はオリンピックの出場権を争う重要な大会であり、0.10 でも順位が変わるためスコアに不明な点がある場合は問い合わせをすることも必要である。しかし、今大会のように問い合わせ後にスコアが下がる場合もあるということを理解しておかなければならぬ。

## 全体として：

今大会は、2020 東京オリンピックの団体出場権を獲得するための非常に重要な大会であった。昨年行われたドーハ世界選手権でアメリカ、ロシア、中国の 3 カ国は既に東京オリンピックの団体出場権を獲得しており、残りの 9 カ国は今回の世界選手権の予選の競技で決定することとなっていた。北京五輪以来、日本女子は、オリンピックや世界選手権の団体で予選を通過し、決勝ではメダル獲得まであと一歩というところまで力をつけてきていた。今回は 6 月に代表選手が決定して以降、度重なる怪我の影響で調整が遅れ、万全なコンディションではない状態で競技会に臨まなければならぬ状況であった。さらに日本以外のどの国もオリンピック団体出場権を獲得するためには確実に力をつけてきており、非常に僅差の戦いになることが予想されていた。

結果として、日本女子は予選の競技で大過失を 1 つも出すことなく、団体 11 位で最大の目標であった東京オリンピックの団体出場権を獲得することができた。予想通り、予選 7 位から 11 位 (GBR, ITA, GER, BEL, JPN) までの得点差はわずか 0.735、決勝進出ラインの 8 位イタリアと 9 位ドイツの差は 0.034 という僅差の戦いであり、まさに 0.10 で順位が入れ替わる状況であった。日本選手は大きなプレッシャーのかかる中、さらに万全なコンディションではない中でも現時点でのそれぞれの持っている力を発揮し大過失なく演技をしたにもかかわらず、団体決勝に進むことはできなかった。一方、日本より上位の国で予選において大過失を 1 つも出さなかった国はフランスのみであり、その他の国は段違い平行棒や平均台で落下をしながらもチーム得点となるベスト 3 は大過失なく演技を揃え、上位に食い込んできている。日本が東京オリンピックで確実に予選を通過するためには、さらなるレベルアップが必要であることを痛感した。

表-5 団体予選(5-4-3)のチーム得点と大過失の回数

| 順位        | 国名  | 跳馬            |          | 段違い平行棒        |           | 平均台           |          | ゆか            |           | 総合得点           | 得点差           |
|-----------|-----|---------------|----------|---------------|-----------|---------------|----------|---------------|-----------|----------------|---------------|
| <b>1</b>  | USA | 44.932        | 1        | 44.374        | 2         | <b>41.666</b> | 2        | 43.233        | 1         | 174.205        |               |
| <b>2</b>  | CHN | 43.265        | 5        | 43.765        | 3         | 43.066        | 1        | 39.065        | 8         | 169.161        | -5.044        |
| <b>3</b>  | RUS | 43.666        | 3        | 44.416        | 1         | 39.299        | 5        | 40.699        | 2         | 168.080        | -1.081        |
| <b>4</b>  | FRA | 43.900        | 2        | 43.166        | 4         | 39.482        | 3        | 40.165        | 3         | 166.713        | -1.367        |
| <b>5</b>  | CAN | 42.933        | 7        | 41.199        | 12        | 39.333        | 4        | 39.457        | 7         | 162.922        | -3.791        |
| <b>6</b>  | NED | 42.733        | 10       | 40.999        | 13        | 38.999        | 6        | 39.932        | 4         | 162.633        | -0.259        |
| <b>7</b>  | GBR | 42.532        | 13       | 43.099        | 5         | 38.899        | 7        | 37.433        | 20        | 161.963        | -0.700        |
| <b>8</b>  | ITA | 43.666        | 3        | 42.566        | 7         | <b>36.999</b> | 15       | 38.700        | 11        | 161.931        | -0.032        |
| <b>9</b>  | GER | 42.732        | 11       | 42.766        | 6         | <b>38.233</b> | 9        | 38.166        | 15        | 161.897        | -0.034        |
| <b>10</b> | BEL | 41.266        | 19       | 42.040        | 8         | 38.200        | 10       | 39.732        | 6         | 161.238        | -0.659        |
| <b>11</b> | 日本  | <b>42.766</b> | <b>9</b> | <b>41.232</b> | <b>11</b> | <b>38.565</b> | <b>8</b> | <b>38.665</b> | <b>12</b> | <b>161.228</b> | <b>-0.010</b> |
| <b>12</b> | ESP | 41.065        | 21       | 41.690        | 9         | <b>36.466</b> | 18       | 39.800        | 5         | 159.021        | -2.207        |

\*スコアの右の数字は種目ごとの順位

\*各種目 3 演技中大過失が、1 回は   色で、2 回は   色で示した。

団体決勝においては全体的に大過失が多く、4種目とも大過失なく演技をした国は1つもなかった。予選を2位で通過した中国は、得意種目である段違い平行棒と平均台でミスが続き、予選よりも5点近く点数を落としてメダルを逃した一方、予選8位で通過したイタリアは、他の国にミスが相次ぐ中、大過失を1つで抑えて見事銅メダルを獲得した。

表-6 団体決勝(5-3-3)のチーム得点と大過失の回数

| 順位 | 国名  | 跳馬     |   | 段違い平行棒 |   | 平均台    |   | ゆか     |   | 総合得点    | 得点差    |
|----|-----|--------|---|--------|---|--------|---|--------|---|---------|--------|
| 1  | USA | 45.166 | 1 | 42.999 | 2 | 40.988 | 1 | 43.899 | 1 | 172.330 |        |
| 2  | RUS | 43.899 | 2 | 43.665 | 1 | 38.465 | 6 | 40.500 | 3 | 166.529 | -5.801 |
| 3  | ITA | 43.732 | 3 | 42.999 | 2 | 38.799 | 4 | 39.966 | 6 | 164.796 | -1.733 |
| 4  | CHN | 43.065 | 5 | 40.199 | 6 | 40.599 | 2 | 40.366 | 4 | 164.230 | -0.566 |
| 5  | FRA | 43.599 | 4 | 40.565 | 5 | 38.732 | 5 | 40.732 | 2 | 163.628 | -0.602 |
| 6  | GBR | 42.632 | 8 | 42.099 | 4 | 39.499 | 3 | 37.265 | 8 | 161.495 | -2.133 |
| 7  | CAN | 43.033 | 6 | 39.899 | 7 | 37.965 | 7 | 39.666 | 7 | 160.563 | -0.932 |
| 8  | NED | 42.732 | 7 | 39.098 | 8 | 37.432 | 8 | 40.165 | 5 | 159.427 | -1.136 |

\*スコアの右の数字は種目ごとの順位

\*各種目3演技中大過失が、1回は   色で、2回は   色で示した。

数ヶ月後に迫った東京オリンピックで日本女子がメダル獲得を目指すには、今年度同様にDスコアを上げていくことはもちろんあるが、姿勢欠点のある実施や不正確な実施は厳密に減点されてしまうため、まずは1つ1つの技を正確に、美しい姿勢で実施することが重要である。そして確実に難度や組み合わせ点が獲得できる技を選択し、演技を最初から最後まで通し込める力をつけ、予定しているDスコアを確実に獲得できるよう完成度の高い演技を目指していただきたいと思う。

また、2024年のパリオリンピック、さらにそれ以降に向けての強化も急務であると感じる。近年の日本選手は立ち姿勢や膝・つま先の美しさに欠ける選手が非常に目立つようになっているが、今大会を通じても世界の上位国には演技中に膝・つま先の緩みが見られる選手や身体の姿勢の悪い選手は見受けられなかった。特にジュニア層の選手には、まず基本となる美しい姿勢と正確な技の実施を徹底していただき、長期的な計画のもとで強化を図っていただきたいと感じた。

以上

## 付録

### 【タイブレークの基準について】

\*この規則は、FIG 競技規則によるオリンピック、世界選手権等 FIG 主催の競技会に向けた規則です。国内の競技会においては、各競技会の主催団体によって、この規則を準用または参考にし設定をしてください。

## 競技規則 FIG Technical Regulations 2020 (抜粋)

### 第2章 体操競技に関する特別規定

#### 第4条 4 タイブレーク ルール

##### 第4条 4.1 予選

すべての決勝への資格取得：

同点の場合、どの順位においても、以下の通りの基準で順位を決定させる：

###### 第4条 4.1.1 個人総合決勝のための予選

同点の場合、個人総合決勝の予選のどの順位においても資格取得にむけてのランキングは以下の基準で決定される：

1. 最終得点のうち、男子は得点の高い5種目の合計、女子は得点の高い3種目の合計の得点が高い選手が上位となる（それでも同点の場合は、男子は得点の高い4種目、3種目、2種目、1種目の合計、女子は得点の高い2種目、1種目の合計の得点）
2. さらに同点の場合は、すべての種目のEスコアの合計が高い選手が上位となる
3. さらに同点の場合は、すべての種目のDスコアの合計が高い選手が上位となる  
さらに同点の場合は、どちらも同じ順位とする。

###### 第4条 4.1.2 種目別決勝のための予選

同点の場合、どの種目、どの順位においても、跳馬を除き、種目別決勝のための資格取得にむけてのランキングは以下の基準で決定される：

1. Eスコアが高い選手が上位となる
2. Dスコアが高い選手が上位となる  
さらに同点の場合は、どちらも同じ順位とする。

跳馬の種目別決勝のための予選における得点が同順位であった場合、どの順位においても資格取得に向けてのランキングは以下の基準で決定される：

1. 2本の跳躍のスコアの合計点が高い選手が上位となる
2. 2本の跳躍のうち、どちらか一方のEスコアが高い選手が上位となる
3. 2本の跳躍のうち、どちらか一方のDスコアが高い選手が上位となる  
さらに同点の場合は、どちらも同じ順位とする。

#### **第4条 4.1.3 団体決勝のための予選**

同点の場合、団体総合決勝の予選のどの順位においても資格取得にむけてのランキングは以下の基準で決定される：

1. 最終得点のうち、男子は各種目のチーム得点の高い5種目の合計、女子はチーム得点の高い3種目の合計の得点が高いチームが上位となる（それでも同点の場合は、男子は得点の高い4種目、3種目、2種目、1種目の合計、女子は得点の高い2種目、1種目の合計の得点）

さらに同点の場合は、どちらのチームも同じ順位とする。

#### **第4条 4.2 決勝**

##### **第4条 4.2.1 個人総合決勝**

同点の場合、個人総合決勝のどの順位においても、ランキングは以下の基準で決定される：

1. 最終得点のうち、男子は得点の高い5種目の合計、女子は得点の高い3種目の合計の得点が高い選手が上位となる（それでも同点の場合は、男子は得点の高い4種目、3種目、2種目、1種目の合計、女子は得点の高い2種目、1種目の合計の得点）
2. さらに同点の場合は、すべての種目のEスコアの合計が高い選手が上位となる
3. さらに同点の場合は、すべての種目のDスコアの合計が高い選手が上位となる

さらに同点の場合は、どちらも同じ順位とする。

##### **第4条 4.2.2 種目別決勝**

最終得点が同順位であった場合、すべての種目のどの順位においても、跳馬を除き、ランキングは以下の基準で決定される：

1. Eスコアが高い選手が上位となる
2. Dスコアが高い選手が上位となる

さらに同点の場合は、どちらも同じ順位とする。

##### **跳馬 種目別決勝**

種目別決勝における最終得点が同順位であった場合、どの順位においてもランキングは以下の基準で決定される：

1. 2本の跳躍のスコアの合計点が高い選手が上位となる
2. 2本の跳躍のうち、どちらか一方のEスコアが高い選手が上位となる
3. 2本の跳躍のうち、どちらか一方のDスコアが高い選手が上位となる

さらに同点の場合は、どちらも同じ順位とする。

##### **第4条 4.2.3 団体決勝**

同点の場合、団体総合決勝のどの順位においても、ランキングは以下の基準で決定される：

1. 最終得点のうち、男子は各種目のチーム得点の高い5種目の合計、女子はチーム得点の高い3種目の合計の得点が高いチームが上位となる（それでも同点の場合は、男子は得点の高い4種目、3種目、2種目、1種目の合計、女子は得点の高い2種目、1種目の合計の得点）

さらに同点の場合は、どちらのチームも同じ順位とする。

## 【マークをつける位置の基準について】

### 採点規則 2.3.2 競技の服装

F) 現行の FIG 規定に従い、自国のマークまたはエンブレムをレオタード／ユニタードにつけなければならない。

## 2017-2020 FIG 広告規定および競技服装 抜粋

### 第6章 国のマーク

マークの表示は以下のとおりに付ける：

レオタード／ユニタード：美観を損なわない場所ならばどこに付けてもよい。

チームの場合、すべての選手のマークは同一でなければならない。